

学生による授業評価アンケート 2004 年前期結果(栗山担当科目)

栗山浩一

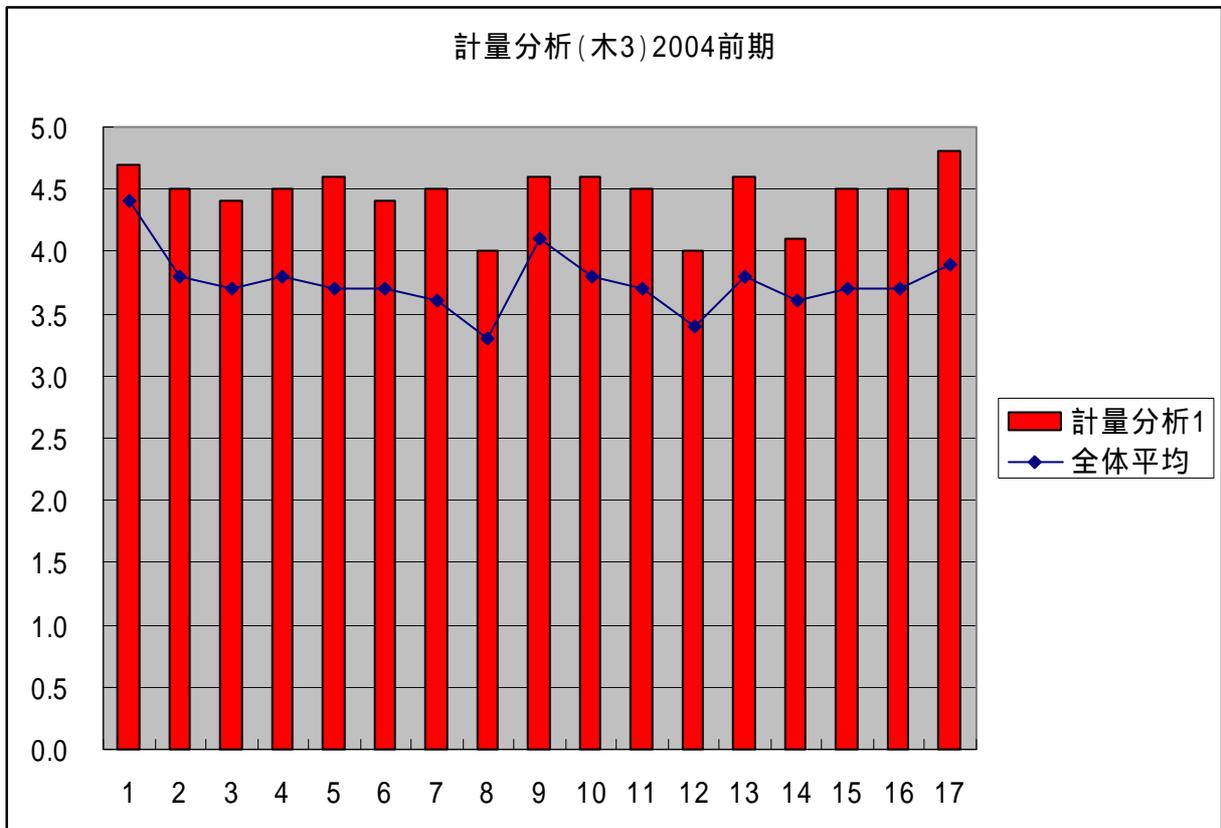
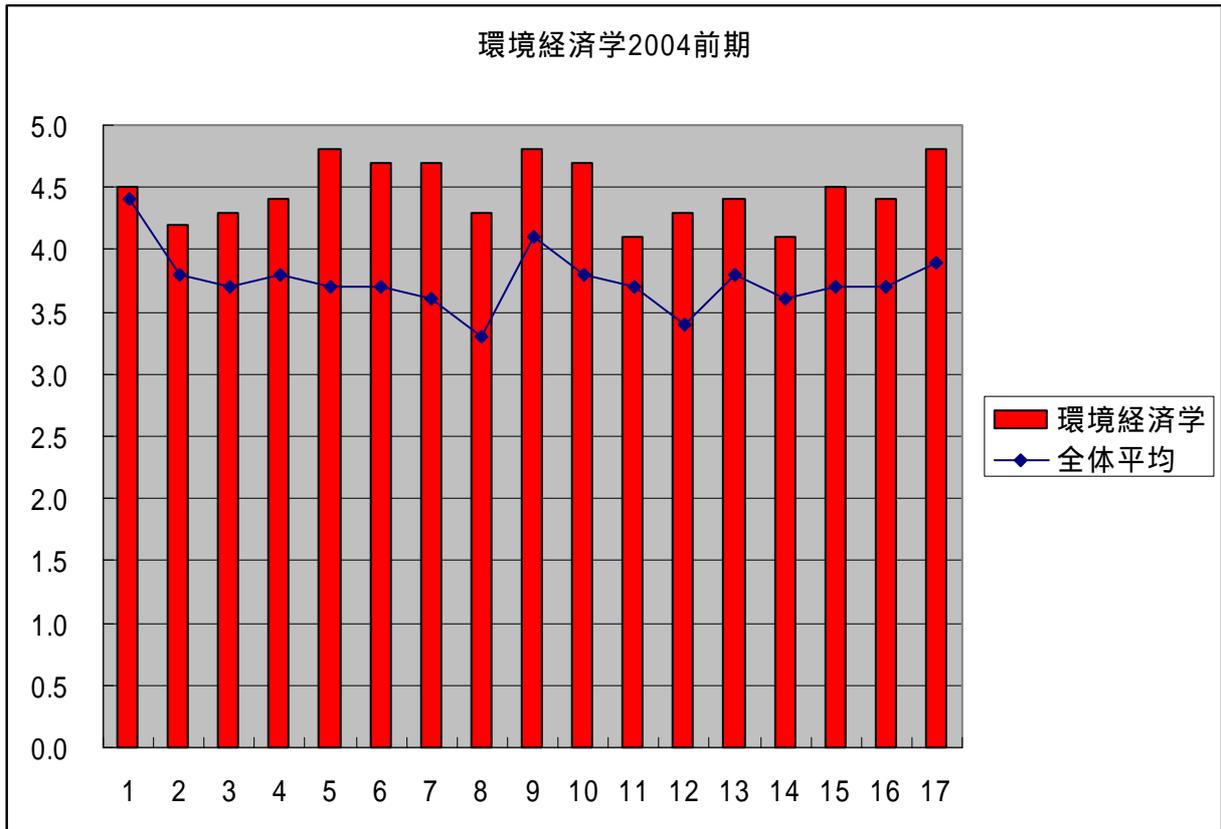
表1 評価結果一覧

		全体平均	環境 経済学	計量分析 1 (木3)	計量分析 2 (木5)	専門演習
	履修者数		420	66	67	20
	回答者数		226	56	61	19
1	自分がこの授業に出席した割合	4.4	4.5	4.7	4.7	5.0
2	自分はこの授業に熱心に取り組んだ	3.8	4.2	4.5	4.4	4.9
3	シラバスの書き方が適切であった	3.7	4.3	4.4	4.4	4.7
4	内容がシラバスに沿っていた	3.8	4.4	4.5	4.6	4.7
5	内容がわかりやすく整理されていた	3.7	4.8	4.6	4.7	4.6
6	教材・資料等の利用が効果的だった	3.7	4.7	4.4	4.5	4.8
7	プレゼンテーションの仕方が効果的だった	3.6	4.7	4.5	4.6	4.5
8	宿題が適切に出されていた	3.3	4.3	4.0	4.3	4.9
9	教員が熱心だった	4.1	4.8	4.6	4.8	4.9
10	教員の説明がわかりやすかった	3.8	4.7	4.6	4.9	4.8
11	質問への対応が適切だった	3.7	4.1	4.5	4.5	4.8
12	学生の積極性が促されていた	3.4	4.3	4.0	4.2	4.7
13	この分野の知識が身についた	3.8	4.4	4.6	4.6	4.8
14	この分野に関する判断力が備わった	3.6	4.1	4.1	4.3	4.7
15	この分野への学習意欲がわいた	3.7	4.5	4.5	4.6	4.9
16	自分にとって重要な授業だった	3.7	4.4	4.5	4.7	4.9
17	総合的に良い授業だった	3.9	4.8	4.8	4.8	4.8

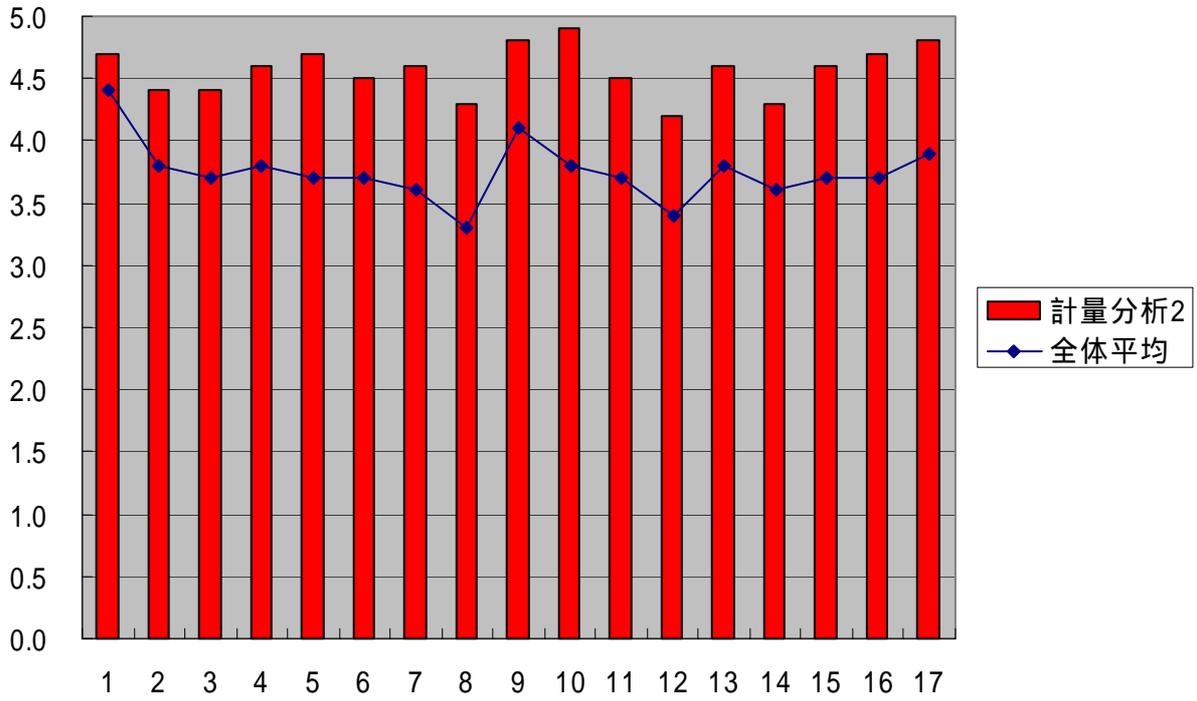
注：点数は5点満点、「全体平均」大学全体の平均値

- ・ すべての項目について大学全体の平均を上回っていた。
- ・ 総合評価(17)はすべての科目で4.8。
- ・ 大教室の環境経済学よりも少人数の計量分析や専門演習の方が出席割合(1)は高い。
- ・ 環境経済学は授業のやり方や資料に関する項目(5, 6, 7, 10)が高い傾向にあるが、質問の対応(11)、判断力(14)などが低い。質問については、講義の後に質問を受ける時間が足りないのかもしれない。
- ・ 計量分析は授業内容や説明方法に関する項目(5, 10)が高い傾向にあるが、学生の積極性(12)や判断力(14)などが低い傾向にある。教員の説明のままパソコン操作を受動的にマネするだけでなく、自分で考えて操作するような時間を取り入れるほうがいいかもしれない。

授業評価 グラフ



計量分析(木5)2004前期



専門演習2004前期

